

【診療科:乳腺外科】
 【レジメン登録番号:SB-27】

< dose-dense EC-P療法 >

<dose-dense EC療法>

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)											
			1	2	3	4	5	6	7	8				14
エピルビン	90mg/m ²	div	○											
エンドキサン	600mg/m ²	div	○											

【1コース期間: 14日】

【総コース数:4コース】

<dose-dense P療法> ※dose-dense EC療法4コース終了後に開始

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)											
			1	2	3	4	5	6	7	8				14
パクリタキセル	175mg/m ²	div	○											

【1コース期間: 14日】

【総コース数:4コース】

【適応癌種: 乳癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<dose-dense EC療法>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 9.9mg	div(30分で)
	5-HT ₃ RB 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	エピルビン 90mg/m ²	div(10分で)
	5%ブドウ糖液 50mL	
Rp.3	エンドキサン 600mg/m ²	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	

<dose-dense P療法>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 16.5mg	div(全開で)
	ガスター 20mg	
	ポララミン 10mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	5-HT ₃ RB 1A	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	パクリタキセル 175mg/m ²	div(3時間で)
	5%ブドウ糖液 500mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献: Lancet 2015;385:1863-1872】

【備考:各コース共、ジーラスタの予防的投与を行う。ジーラスタは抗癌剤投与24時間以上経過後、出来るだけ速やかに投与すること。
 また、EC療法ではアプレビタントを併用すること。併用しない場合はデキサートの量を9.9mg→19.8mgへ増量すること。】

【変法情報:

】